

芸術文化観光専門職大学 パフォーミングアーツ プロジェクト

新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

第1版

2021年10月19日

CAT Performing Arts Project 制作部企画

❖ 本ガイドラインの趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響が依然続く中、芸術文化観光専門職大学では、「CAT Performing Arts Project」と称し、年に数回大学内で演劇やダンスの本格的な公演が行われる。

本ガイドラインはこのプロジェクトを遂行するに当たり、芸術文化観光専門職大学（静思堂シアター等）の利用者向けに作成・策定されたものである。なお、本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症に対する最新の知見等を踏まえ、随時更新していくこととする。

❖ 策定方法

一般社団法人江原河畔劇場により作成された「江原河畔劇場新型コロナウイルスガイドライン（第2版）」を基に作成・策定した。

なお、参考資料として活用した江原河畔劇場のガイドラインは、有限会社アゴラ企画が専門家の知見を元に作成している。政府の専門会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」中にある「各業種のガイドライン等の作成に当たって求められる基本的な考え方や留意点の例」等に留意しながら各業界団体が出しているガイドラインも参考にしている。

❖ 本ガイドラインの内容

- 【1】 稽古期間から劇場入りまでの対策
- 【2】 劇場における対策
- 【3】 来場者における感染防止策

【1】稽古期間から劇場入りまでの対策

① 稽古実施の前提

- スタッフ・キャストは健康を守ることを第一と考え、体調が悪い（かもしれない）と感じた場合には、プロジェクトの代表者に報告の上、気兼ねをせず休む。
- プロジェクト責任者においては、体調不良者が出た場合に備え、可能な限りバックアップができる体制を構築すること。
- 万一感染者が出て稽古・公演に中止を含む支障が出た場合も、感染者に責務を負わせない。
- 公演の続行・休止・中止については主催者が責任を持って決定し、速やかに関係各所へ連絡するものとする。
- 新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した方と、発症2日前から隔離開始までの機関に濃厚接触した可能性がある場合は、プロジェクトの代表者に速やかに申し出る。
- 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域などへの渡航及び当該国・地域の在住者は帰国・入国から14日以上経過した後、稽古参加とする。
- 発熱等の症状により自宅で療養することとなった者は、毎日健康状態を確認した上で、症状が改善してから最低48時間の経過期間を至るまでは稽古に参加しない、させない。
- 息苦しさや強いだるさ、熱等の症状がある場合や、咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合は、自宅待機とする。

② 入館時

- 大学施設への入館時には全員、検温を行う。もしくは各自自宅・滞在施設にて検温を実施する。37.5℃以上の発熱がある場合や、体調に異変がある場合は自宅待機とする。

- 大学施設への入館時、手指の消毒を行う。

③ 稽古場

- 稽古場仕込み撤去において、十分な時間を設定し、三密の発生防止に努める。
- 稽古場内は常時換気を実施する。
- 稽古場内の手すり、カーテン、ドアノブ、机、椅子、床等は頻繁に清拭消毒を行う。
- 舞台セットのキャスト・スタッフの触れる部分、小道具は舞台監督と相談し抗菌処理を行うことを推奨する。(業者による1度の抗菌処理で1年間は有効。稽古場内の中央に道具を集めて抗菌処理を実施。所要時間2時間程度。抗菌＝ウイルスがその物に滞在している時間が圧倒的に短くなる効果あり。)
- 稽古中、キャスト以外はマスクを着用する。使い捨て手袋も有効。
- スタッフはできるだけ用具の共有を行わないものとする。
- 稽古参加以外の関係者の稽古場の出入りは必要時を除き、極力少なくする。
- トイレの蓋がある場合は、蓋をして水を流す。

④ 飲食

- 水分補給は各自、水筒・ペットボトル等を持参し、原則共有は禁止するものとする。
- ペットボトル飲料は各自、管理・破棄をする。残置に注意し、残置されたペットボトルは廃棄する。
- 食事は定められた場所のみとし、マスクを外した状態で会話は行わない。
- ゴミは各自で持ち帰るものとする。

⑤ 移動

- 移動中はマスクを着用・咳エチケットを遵守する。

⑥ 連絡系統

- 各キャスト・スタッフの緊急連絡先・連絡網を作成する。
(Gメールアドレスを用いて、大学内でメーリングリストを作成)

⑦ 出演者の感染対策

- 稽古は45分単位で行い、原則として休憩中は稽古場の管理を行う。
- 出演者は定期的なPCR検査を行うとともに、本番3週間前から会食を強く規制する。

⑧ 感染が疑われる場合

- 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに隔離等を行い、人との接触をできる限り避けるものとする。必要に応じて直ちに帰宅させ、自宅待機とする。
- 上記、全ての内容をプロジェクト期間中、周知徹底する。

【2】劇場における対策

① 公演実施の前提

- スタッフ・キャストは健康を守ることを第一と考え、体調が悪い（かもしれない）と感じた場合には、プロジェクトの代表者に報告の上、気兼ねをせずに休む。
- プロジェクト責任者においては、体調不良者が出た場合に備え、可能な限りバックアップができる体制を構築すること。
- 万一感染者が出て稽古・公演に中止を含む支障が出た場合も、感染者に責務を負わせない。
- 公演の続行・休止・中止については主催者が責任を持って決定し、速やかに関係各所へ連絡するものとする。
- 新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した方と、発症2日前から隔離開始までの機関に濃厚接触した可能性がある場合は、プロジェクトの代表者に速やかに申し出る。
- 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域などへの渡航及び当該国・地域の在住者は帰国・入国から14日以上経過した後、稽古参加とする。
- 発熱等の症状により自宅で療養することとなった者は、毎日健康状態を確認した上で、症状が改善してから最低48時間の経過期を経るまでは稽古に参加しない、させない。
- 息苦しさや強いだるさ、熱等の症状がある場合や、咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合は、自宅待機とする。

② 入館時

- 大学施設内への入館時には全員、検温を行う。もしくは各自自宅・滞在施設にて検温を実施する37.5℃以上の発熱がある場合や体調に異変がある場合は自宅待機とする。

- 大学施設内への入館時、手指の消毒を行う。

③ 劇場内

- 劇場仕込み・撤去において、十分な時間を設定し、三密の発生防止に努める。
- 出演のキャスト以外はマスクを着用する。
- 舞台セットのキャスト・スタッフの触れる部分、小道具は舞台監督と相談し抗菌処理を行うことを推奨する。また、なるべく道具ごと、機材ごとに担当を決め、担当以外が扱わないようにする。
- 客席、客席椅子、客入れ扉ドアノブ、客入れ階段手すり等、来場者が触れる箇所は、開場前に必ず消毒を行う。

④ 楽屋

- 楽屋内では可能な限り距離を取った鏡前の配置とする。
- 楽屋内は常時換気を実施する。
- 楽屋内の手すり、カーテン、ドアノブ、机、椅子等は頻繁な清拭消毒・除菌を行う。
- 楽屋を事前に抗菌処理することも推奨する。
- 楽屋入室時、手指の消毒を行う。
- ヘアメイク道具は共用で使用しない。また消毒や除菌をする。
- キャスト・スタッフにおいてはシューズ、マット、カップ等の共用を避け、管理、洗浄、消毒は各自責任を持って行う。
- トイレの蓋がある場合は、蓋をして水を流す。
- 関係者の楽屋の出入りは必要時を除き、極力少なくする。
- 終演後の楽屋面接は中止し、関係者の出入りを極力少なくする。
- ロビー花、楽屋花の受領は中止する。

⑤ 飲食

- 水分補給は各自、水筒・ペットボトル等を持参し、原則共有は禁止するものとする。
- ペットボトル飲料は各自、管理・破棄をする。残置に注意し、残置されたペットボトルは廃棄する。
- 食事は定められた場所のみとし、マスクを外した状態で会話は行わない。
- ゴミは各自で持ち帰るものとする。

⑥ 移動

- 移動中は原則マスクを着用・咳エチケットを遵守する。

⑦ 連絡系統

- 各キャスト・スタッフの緊急連絡先・連絡網を作成する。
(Gメールアドレスを用いて、大学内でメーリングリストを作成)

⑧ 舞台・客席の設定

- 舞台と客席との間を2m空ける。またはそれと同等の措置を行う。
- 公演の前後及び公演の休憩中に、会場内の換気を行う。また公演中についても、適切な換気を行う。
(劇場の換気設備は新型コロナウイルス感染症発足後に整備したものであるため、従来のものよりも空気循環に優れた構造・機能となっている。)

⑨ 受付・ロビー

- テーブル・椅子等の物品の消毒を行う。
- 常時換気を実施する。
- チラシ、アンケート、パンフレット等は手渡しによる配布を行わない。
- 面会は中止とし、プレゼント・差し入れ等は控えるように呼びかける。
- ロビー花、楽屋花の受領は控えることとする。

- 対面で販売を行う場合、マスクの着用、手指のアルコール消毒、検温などを義務付け、万全の対策を期すこととする。

⑩ 感染が疑われる場合

- 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに隔離等の適切な処置を行い、人との接触をできる限り避けるものとする。必要に応じて、直ちに帰宅させ、自宅待機とする。
- 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- 万が一、感染者が発生した場合は、感染した人の人権を守る配慮を行う。
- 体調不良者が出た場合、帰国者・接触者相談センター（豊岡健康福祉事務所）等に連絡し、対応を相談する。
- 上記、全ての内容をプロジェクト期間中、周知徹底する。

【3】 来場者に関する感染防止策

① 公演前の対策

- 来場者の氏名、および緊急連絡先の把握を行う。また、来場者から感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 来場者の検温実施の要請のほか、来場を控えてもらうケースを事前に周知する。

② 公演当日の対策

1) 周知・広報

- 感染予防の為、大学と協力の上、来場者に対して以下の周知をする。
- マスク着用、手指の消毒、咳エチケット、社会的距離の確保の徹底、下記の症状に該当する場合に来場を控えること。
 - 37.5℃以上の発熱、極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、頭痛、下痢、嘔気・嘔吐

2) 来場者の入場時の対応

- 以下の場合には、入場しないように要請する。
 - 検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
 - 咳、咽頭痛などの症状がある場合

- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合
- パンフレット、チラシ、アンケート等の手渡しによる配布は行わない。
- プレゼント、差し入れ等は控えるように呼びかける。
- 感染が疑われるものが発生した場合、速やかに医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受ける。
- ロビーでは原則として、飲食・喫煙・マスクを外した状態での会話を規制するものとする。

3) 公演会場内の感染防止策

- 接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用と会話抑制等、複合的な予防措置に努める。
- 上演中は常時換気設備を稼働させる。
(劇場の換気設備は新型コロナウイルス感染症発足後に整備したものであるため、従来のもものよりも空気循環に優れた構造・機能となっている。)
- 声を出しての応援は禁止とし、代わりに大きな拍手を用いることとする。
- 各公演の終了後に必ず、客席・舞台・ロビー等のアルコール消毒を行う。

4) 来場者の退場時の対応

- 面会等は行わないことを周知する。

③ 公演後の対応

- 公演ごとに、来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成し保存するよう努める。保存期間を4週間とする。個人情報法保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じる。
- 感染が疑われる者が発生した場合には、速やかに連携が図れるよう、所轄の保健所との連携体制を整え、必要な情報提供を行う。

- 万一、来場者の新型コロナウイルス感染が確認された場合は、速やかに他の来場者に連絡するものとする。後々の対応については、保健所の指示に従うものとする。
- 上記、全ての内容をプロジェクト期間中、周知徹底する。

❖ 注意事項

- 当ガイドラインは芸術文化観光専門職大学にてパフォーマンスアーツプロジェクトを行う際の対応指針を示すもので、当ガイドラインの情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。
また、当ガイドラインに起因して生じた損害については、責任を負いかねますので御了承ください。
- 当ガイドラインの内容は作成当時の情報に基づいています。
状況に応じ、随時編集・更新していく予定です。

❖ 参考にしたガイドライン

- 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針（2021年10月08日改定）
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/coronataishohoushin0413.html>
- 公益社団法人全国公立文化施設協会
「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」（2021年10月15日改定）
https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/1015covid_19.pdf
- 緊急事態舞台芸術ネットワーク
「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」（2020年12月02日改定）
http://jpasn.net/stage_guideline0630a.pdf
- 江原河畔劇場
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（第2版）
<https://ebara-riverside.com/erst-wp/wp-content/uploads/2021/02/>